

令和 7 年度 事業計画（案）

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

「面白い商店街」への Re-Design（リ・デザイン）

平素は、商店街の運営に格別のご理解とご協力を賜りありがとうございます。

大阪では 55 年ぶりの万博が開催され、高度経済成長期の記憶と重なるような高揚感が広がっておりますが、他方では国際情勢の変化や関税問題などが、これまで以上に私たちの生活に直接的な影響を及ぼしています。AI をはじめとしたテクノロジーの進展により暮らしは便利になる一方で、多様な価値観の中で「豊かに生きること」の意味が問われる時代となり、私たちは加速度的に変化する社会の中を生きていると感じられます。

昨年度は、コロナ禍を経て変化した社会環境を踏まえ、天理本通りの価値と役割を再定義するため、「Re-Design（リ・デザイン）」をテーマに事業を進めてまいりました。具体的には、商店街の思い出写真展をきっかけに、各店舗のヒストリーや商店街の歩みを掘り起こし、記憶と記録の収集・編集を通じて、過去から未来への道筋を描く試みを行いました。

本年度は、引き続きこの取り組みを発展させ、「楽しい商店街」ではなく、あえて「面白い商店街」を目指す視点を掲げます。

「面白い」とは、単に娯乐的という意味ではなく、人や物、歴史や場所に宿る独自性や意外性を発見し、それを来街者や地域住民と共有していく姿勢です。

各店舗や通りにある日常の中の“違和感”や“ズレ”、“変化”を面白がることで、新たな魅力を再編集していきます。

天理本通りが「天理の 1 丁目 1 番地」として、地域における唯一無二の「場」を継続するには、天理教様や行政、大学、地域住民などとの連携が欠かせません。

今年度は、商店街を“再編集”するための協働関係を築きながら、多様な人々が出会い、関わり、価値を共創できる商店街像を描いていきます。

商店街のヒストリーをひも解きながら、これからの天理本通りを「面白く」する一年にしたいと考えます。

事業

- ① 天理本通りの Re-DESIGN（リ・デザイン）プロジェクト
商店街のショップヒストリー
天理本通りアートストリート 他
- ② 天理駅前まちづくり事業との連携
- ③ 天理教教祖 140 年祭（令和 8 年 1 月 26 日）に向けての対応事業
- ④ 本ぶらサンデー開催に参加、協力
- ⑤ 「川原城地蔵尊夏祭り」開催に協力
- ⑥ 「光の祭典」開催に協力

広報・装飾

- ① WEB サイトの継続的な更新と SNS を使った広報活動の強化
- ② 校外学習や視察の受け入れ（学校関係、対外視察の受け入れ）
- ③ 大学生や大学院生への卒論・研究対応
- ④ 三島本通りと情報発信の連携と協力
- ⑤ 魅力ある商店街の情報収集

施設維持・管理

- ① アーケードの点検
- ② 安全な路面の維持
- ③ 防災・防火対策の強化と設備保全
- ④ 防犯カメラの管理
- ⑥ 協同で路面清掃